

**事業所名** グループホーム宗堂さくら苑  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 7月20日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、第1種介護福祉士、介護支援専門員  
B:現職 デイサービスセンター管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

**外部評価の結果**

**簡評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

丘陵地に囲まれた郊外の田園地帯にあり、すぐ側には山陽本線と東海道が走り、JR駅にも近く交通の便利な場所に位置している。周囲を水田と桃畑に囲まれ、風光明媚で気候温暖なロケーションである。

家庭的な雰囲気のもとで入居者の残存能力に応じ、その人らしく一人ひとりの個性を大切に、趣味活動等生きがいのある日常生活が送れるようにスタッフ全員で支援している。職員は常に明るく微笑んでおり、介護を楽しむような姿は入居者に好影響を与えている。

運営母体である近藤内科とデイケア施設に隣接しており、医療・健康保持面共に確実なバックアップがあり、安心してホーム生活が送れる。加えて、職員全員が常勤であり、職員は安定したケアを提供できる。

2ユニットのグループホームで、エレベーターも完備されている。各ユニットがそれぞれ特性を持って連携しており、様々なタイプの認知症に対応できるようになっている。

ホームを終の安住の場所として重度の認知症の方も積極的に受け入れ、人生の終焉までお世話をするターミナルケアをシステムとして取り入れている。

理学療法士によるリハビリテーションのボランティアが週2回あり、入居者・家族からは残存機能保持と楽しみとして大変好評を得ており、開かれたグループホーム作りがなされている。

地域との積極的な結びつきを目指し、「地域運営推進会議」を区長や民生委員の方々と共に開催し、地域住民との有機的なネットワークを構築して住民と一体となったグループホームを目指している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

安全な外出支援については模索・検討中だが、認知症緩和のため本人の意向・体調を考慮の上、外出の機会を増やす支援を期待する。

地域・家族とのより緊密な連携を構築しようとしており、ホーム誌等を発行してより細かく継続的に情報を提供すれば、さらなる地域での福祉の核となり、家族のより深い理解・信頼に繋がるものと思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <p>入居者一人ひとりの個性を尊重しながら自分らしさを継続し、自立支援を中心に生き生きとしたホーム生活が出来るように支援している。</p> <p>入居者・職員共々出会いを喜び、「生きていて良かった」と実感でき、穏やかな共同生活を毎日継続できるように目指し支援している。</p> <p>職員は、認知症介護の質向上・介護技術のレベルアップを目指し、機会あるごとに外部研修に参加している。内部においても、常々事ある事にお互いに検討・研究を行ない自己研鑽に努めている。</p> <p>入居者の終の棲家として安心して暮らしていただけるよう、ターミナルケアまで行う人間の尊厳に配慮した介護を目指している。</p> <p>地域との連携を重要視しており、「地域運営推進会議」を呼びかけ、地域との一体性・地域主体のグループホームを目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p><b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>ホーム内には静かな音楽が流れ清潔感があり、季節を感じさせる生け花・展示物も置かれ、入居者に落ち着きと安心感を与えるように取り組んでいる。</p> <p>重度の入居者には特に配慮し、部屋の中に孤立しないようにいつも家族と一緒にいるような雰囲気作りをしている。</p> <p>広い共用空間を生かした自由な居場所の確保を心がけており、一人で自由に職業の場所で過ごし精神的に安定するように取り組んでいる。</p> <p>コミュニケーションや会話を入居者個々に合わせて行ない、ゆっくり楽しむように介護をし、入居者の自主性と生活意欲を引き出すようにしている。</p> <p>職員それぞれに担当を割り当てて介護の人的継続性を図り、入居者の安心と精神的安定をもたらすように取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p><b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>個々の入居者の生活歴・経験を把握し、趣味・手芸等で出来ること、頼りみ慣れたことを自発的に行なってもらい、入居者が作成した作品を飾り入居者の行為を尊重するようにしている。</p> <p>各居室にトイレがあり、排泄時のプライバシーには特に配慮している。</p> <p>入居者個々の会話・理解能力に合わせ、ゆっくりと礼節を持って本人が納得するまで丁寧に接しており、相手の人格を尊重する接遇を行なっている。</p> <p>個人記録はきちんと管理し、事務室に保管している。個人情報には特に保護するように取り組んでいる。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p><b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b></p> <p>事務長・管理者を始め、職員は常に認知症介護のスキルアップを心がけ、各種研修会・法人内部での研修に積極的に参加するようにしており、その内容は職員全員で共有するようにしている。</p> <p>職員の就業環境の安定が質の良いケアサービスに繋がる事を理念とし、職員は常勤を基本として、働きやすい職場・就業の長期安定に努めている。</p> <p>日常の出来事を漏らさず記録に留めるように心がけ、管理者、職員が一緒に徹底的に検討して共有し、事故防止に努め、安全第一のホーム生活を実現するように努力している。</p>		